

稲沢北小学校だより

きずな

第142号

TEL 0587-23-1555

Eメールアドレス
es-inazawan@inazawa-aic.ed.jp

R 8. 1 0. 9

これからの学校教育 ～学校・家庭・地域で育む、子どもたちの未来～

稲沢北小学校長 内藤 伸一郎
ないとう しんいちろう

保護者や地域の皆さまには、日頃より子どもたちを温かく見守っていただくとともに、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

現在、令和12年度から実施が予定されている新しい学習指導要領に向けて、文科省にて準備が進められています。それによると、これからの学校教育は、AI（人工知能）が普及する社会を見据え、「知識を覚えること」だけでなく、「学んだ知識を生かして自分で考え、人と協力しながら課題を解決すること」を大切にする学びへと変わっていくとのことです。それでは、学校・家庭・地域では、どのような方向性で子どもたちを育てていけば良いのでしょうか。

まず、学校では、これまで取り組んできた個別最適な学び・協働的な学びをベースに、より深く学んでいくことを大切にしたいと思います。子どもたち一人ひとりの「好き」や「得意」を大切にし、自分で考え、確かめ、自分の言葉で表現する力を育てていきます。また、タブレット端末なども活用し、それぞれの学び方や進み具合に応じた学習を進めます。

次に、ご家庭では、子どもの興味や関心を温かく受け止めていただければ幸いです。「何が楽しかった？」「なぜそう思ったの？」と対話していただくことが、学ぶ意欲や考える力につながります。

最後に、地域の皆さまには、子どもたちの個性やさまざまな事情を理解し、温かく見守っていただくとともに、地域の自然・歴史・仕事などの体験や知恵を伝えていただければ幸いです。

子どもたちが安心して学び、新しいことに挑戦しながら、自分らしく未来を切り拓いていけるようにするには、これまで同様、学校・家庭・地域が力を合わせて取り組んでいくことが大切です。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

1年 いきものさがし

雨の多かった今年の9月。雨雲の隙間をねらって、1年生の児童は、生活科「いきものとなかよし」という単元で虫探しを行いました。

虫が大好きな児童は、友達に虫の捕まえ方を教えたり、虫の居場所を伝えたりする姿が見られました。その一方で、虫が苦手という児童もいましたが、友達と一緒に探すごことで、だんだんと夢中になって虫を探することができました。虫探しの後には、捕まえた虫が喜びそうなえさを考えたり、虫が喜びそうなすみかを作ったりしました。児童の振り返りカードには、「じっと探したら、草むらのいろいろなところに虫がかくれていました」「怖かったけど、だんだんかわいく見えてきました」と記述していました。

『いきものとなかよし』になった1年生です。



5年 野外教育活動

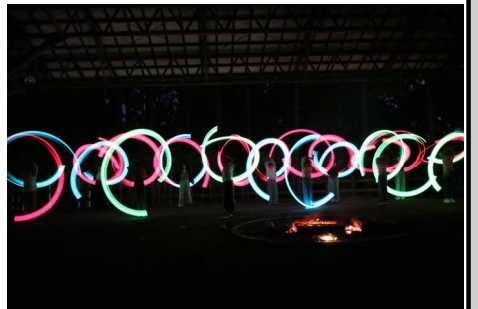
8月5日（水）、8月6日（木）の2日間、旭高原自然の家で野外教育活動を行いました。

カレー作りでは、薪やわりばしを使って火を起こしたり、自分たちで一から食材を調理したりと、クラスの仲間と協力しながら楽しんで取り組んでいました。出来上がったカレーを食べながら「皆で作ったカレーだからおいしい!」「お米が上手に炊けた!」など、仲間と切磋琢磨する児童の姿が見られました。

キャンプファイヤーでは、各係がこれまで準備や練習を重ねてきたスタンプやゲーム、トーチトワリングを行いました。皆で歌ったり、体を動かしたりしながら、仲間と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。それぞれの係が準備してきたことを生かし、思い出に残るキャンプファイヤーとなりました。

メタルスプーンづくりでは、ピーラーを使って厚い木の皮や節を削り、ヤスリで自分が満足するまで磨き上げました。完成したメタルスプーンを手にした子どもたちは、達成感にあふれた表情をしていました。

野外教育活動では、施設が取り組んでいるSDGsについて調べたり、係の仕事やカレーづくり、キャンプファイヤー、メタルスプーンづくりなどに自分たちで考えながら取り組んだりしました。互いに励まし合い、協力し合いながら切磋琢磨する中で、仲間と絆を深め、一人一人が成長を実感することができる野外教育活動になりました。



3年 学習発表会

9月24日（木）に学習発表会を行いました。3年生は、総合的な学習の時間において、「稲沢市の魅力」について探究学習を行ってきました。各グループでテーマを決め、タブレットPCなどを活用しながら調べた成果をスライドショーにまとめ、今回の学習発表会でグループごとに発表を行いました。

発表では、天下の奇祭として全国的にも有名な「国府宮はだか祭」をはじめ、「平和さくらまつり」や「あじさいまつり」、「稲沢夏まつり」といった四季折々の伝統行事やイベントの魅力がたっぷりと紹介されました。また、稲沢市の公式キャラクター「いなっぴー」や、ご当地グルメの「稲沢カレー」、さらに市民に親しまれている施設である「中央図書館」など、自分たちが暮らす街の自慢できるポイントが幅広く取り上げられました。

子どもたちは、写真やイラストを効果的に配置したスライドを作成し、聞き手に伝わりやすい工夫を凝らしながら堂々とプレゼンテーションを行いました。グループで協力しながら情報をまとめ、発表し合う中で、稲沢市の魅力を再発見するとともに、郷土への誇りと愛着をより一層深めることができたようです。ご家庭でもぜひ、お子さんがどのような魅力について発表したのか、話題にしてみてください。

